



都城国際交流協会会報

MIA NEWS

ミア ニュース

編集発行: 都城国際交流協会
〒885-8555 都城市姫城町6-21
都城市役所 国際化推進室内
電話 0986-23-2295
FAX 0986-23-3223
http://miyakonojo-mia.com/
E-mail mia@btvm.ne.jp

協会イベント情報

◇第11回ワールド・フェスタ in みやこのじょう2020

第11回「ワールド・フェスタ in みやこのじょう2020」を開催します。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

日時: 2020年1月19日(日) 12:00~17:00

会場: 都城市総合文化ホール(MJ)
2階マルチギャラリー・中ホール

内容:

- ・世界の様々な国の人との交流・遊び体験
- ・海外のダンスや外国人による演奏など
- ・国際交流・協力団体などの活動紹介パネル展示
- ※ 入場は無料です。

お手伝いいただけるボランティアスタッフも引き続き募集しています。

(ボランティアの内容)

- ・当日のブース準備、終了後の片付け
- ・国紹介ブース補助、ステージ受付・案内
- ・ステージ裏補助等

※ ボランティアをお願いする場所については、こちらで調整させていただきます。

問合せ: 都城国際交流協会

電話: 0986-23-2295

Eメール: mia@btvm.ne.jp

ワールド・フェスタ in みやこのじょう 2020

World Festa

日時: 2020年1月19日(日曜日) 12:00~17:00

会場: 都城市総合文化ホール
(住所: 都城市北原町1106番地100)

※入場無料

ワールド・フェスタ in みやこのじょう 2020 乳児150人に乳児用品があります

世界の様々な国の人との交流・遊び体験
海外のダンスや外国人による演奏など
国際交流・協力団体などの活動紹介パネル展示

主催: 都城国際交流協会 都城市 三股町 都城市文化振興財団 舞台事業組合共同事業体
後援(予定): 宮崎県教育委員会 都城市教育委員会 三股町教育委員会 JICA(独立行政法人 国際協力機構)

イラスト協力: ジャルガルさん(モンゴル)

インフォメーション

~他団体等からのお知らせ~

◆日本語初級講座(無料)受講生募集!

都城市役所国際化推進室主催の日本語初級講座が、2020年1月7日に開講します!
(お知り合いの外国の方にお知らせください)

日時: 2020年1月7日(火)~3月17日(火)
毎週火曜日と金曜日(全20回)
19時~20時30分

場所: 都城市コミュニティセンター

対象: 都城市内在住の外国人

定員: 25名

受講料は無料ですが、テキスト代1,100円が必要です。

※ 応募者多数の場合は抽選になります。

申込み・問合せ

12月20日(金)までに電話、FAX、メールで都城市役所国際化推進室までお申し込みください。

電話: 0986-23-2295

FAX: 0986-23-3223

Eメール: intl@city.miyakonojo.miyazaki.jp



◆宮崎外国人サポートセンター 開設

宮崎県で外国人の方が安心して暮らせるように相談できるサポートセンターが、宮崎市内に開設しました。
(お知り合いの外国の方にお知らせください)

- ・相談は無料です。
- ・秘密は守られます。

【相談できること】

在留手続、雇用、医療、税金、出産、子育て、教育、住宅、災害、その他

【下記の言語で相談できます】

※日本語、英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、マレー語、タガログ語、ネパール語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語
※翻訳機・トリオフオンを利用して対応します。

(宮崎県国際交流協会)

場所: 宮崎市橘通東4-8-1 カリーノ宮崎地下1階

電話: 0985-41-5901 FAX: 0985-41-5902

E-mail: support@mif.or.jp



比較

都城泉ヶ丘高校ALT ジェニファー・ファン

羽田発の便が宮崎空港に着陸して、はるか遠くの水平線、駐車場で風にそよぐワシントン・パーム、そして眩しい太陽の日差しを目にして、最初に「ああ、全然カリフォルニアから出ていない」と思いました。



湿度は別でした。南カリフォルニアは地中海性気候で乾燥した暑さです。実は、10年ほど干ばつで苦労していて、市民は節水を非常に意識しています。緑の芝生があり、お風呂に毎日入ると、皆を裏切っていると言われました。初めてアメリカの東海岸に行った時、青々とした緑と湿度のある気候に驚きました。宮崎県もそうでした。



宮崎の第一印象から3カ月が経ちました。私はどこでも運転し、天気は涼しくなり始めました。今乗っている車がBMWではないこと、山火事より台風があること、ぱっと見てすぐ看板が読めないこと、この三つの事があるので故郷のアーバインではなく、都城に住んでいると感じます。その三つ以外に、都城の生活は意外にアーバインと似ています。共に静かで安全な小さい都市で、国外から来た人が増

えており、観光客向けというよりも日常生活を楽しむことに焦点を当てているようです。新しいパン屋さんやスーパーなどが皆の注目の的になります。都城が食事の美味しさで有名になりたいかどうかわかりませんが、アーバインには食事のためだけに多くの人がやって来ます！

自分の地元と現在住んでいる場所を比較するのは、ホームシックやカルチャーショックの症状だと思う人がいるかもしれませんが、私も、アーバインを恋しく思う時があります(本場の中華料理を恋しく思うのとよく重ね合わせています)。しかし、私にとって、こういう比較を認識すれば、気持ちが楽になります。新しい環境で同じような生活をすれば、カルチャーショックの気持ちが落ち着いてきます。

(宮崎市まで何度も運転しているようにロサンゼルスまで運転して行くことは想像できません、ロサンゼルスの高速道路はいつも渋滞しているので！)

日本で一年間生活してみても、この考え方が愚かな事かどうかわかりません。非常に幼い頃中国に住み、今でもたまには帰りますが、中国語と日本語の多くの違いのように、中国文化と日本文化は大分違うとわかっていきます。とは言え、中国語ができるので、日本語の漢字を理解するのに役立つのですが、カナが入ってくると中国語と日本語の読み方が混ざってしまいます。私の日本語会話力は、ほとんど挨拶か無限に繰り返す「大丈夫、大丈夫！」くらいなので、私が漢字を読めることに友達や同僚はよく驚きます！

言葉の壁にもかかわらず、アーバインから都城までの転換は速やかでした。勿論、この地域の皆さんともっとお会い出来れば嬉しいですが、今までに出会った方々にも助けていただいています。

今回が初来日で、初めて海外で働き、幼い頃中国に住んで以来アジアに住んでいるので初めてのことだらけですが、この記事を書きながら、将来、どんなことがあっても大丈夫だと楽観視しています。

都城での三カ月 りはいきん 李佩琴さん (都城市国際交流員 錢慧文さんのお母さん)

都城に来て三カ月が経ちました。時間が経つのは本当に早いものです。上海に戻るときが来て、未練と名残惜しい気持ちが湧いてきました。

私の娘—錢慧文は都城で国際交流員として働いています。都城に来て娘と久々に一緒に生活ができて、また娘の友達や同僚たちと一緒に色んなイベント(盆地祭り、トリビアナイト、中国語講座)に参加できて、本当に貴重で楽しかったです。



三カ月前を思い出してみると、当時はまだ心配ごとがたくさんでした。全く知らない街に来て三カ月も住むとことが本当にできるのか、違う風習や言葉の壁をどうやって乗り越えられるのか、上海に住み慣れている私はこの生活に慣れるのか…。しかし都城に来てみると、全ての心配がふっ飛んでしまいました。街全体は静かで、人々は親切で、生活も便利です。

8月の盆地祭りに参加しました。人生初の浴衣の着付けもしていただきました。MIAの様々な国の人達や国際化推進室の皆さんと「サンバヤツサ」の踊り連で、一緒にリズムに合わせて踊りを楽しみ、また豪華な日本式パレードも見られて、写真を撮るたくさん撮りました。夜は娘と賑やかな屋台を見物しながらお

いしいものも食べて、最後は花火を楽しみました。久しぶりの感動でした。

今回の滞在中、お茶教室で貴重な茶道体験をさせていただきました。日本の茶道は中国から伝わりましたが、日本独特な趣があります。お茶会を通じて茶礼を学び、心をリラックスさせ、また素晴らしい境地を開きます。茶道の素人として、正座さえしたことのない私は、ほんの短い時間ですら膝と腰が痛くて耐えられませんでした。茶道の先生も、お茶会に来ていた日本人の皆さんも稽古中、ずっと正座で座っているのを見て感心しました。多分これは強い忍耐力と長時間の慣れが必要でしょう。



日本での三カ月に振り返ってみて、一番印象的だったのは、やはりどこへ行っても伝わってくる日本人の親切さです。日本の全ての素晴らしさを持って帰って家族や友達に伝えたいです。

* 李佩琴さんは10月12日、鹿児島空港から中国上海へ帰国されました。

モンゴルの郵便局

～モンゴル国際交流員 ソヨルマーさんによるモンゴル紹介～

皆さんは、年末のお忙しい中、年賀状送付の準備をされているでしょうか。

モンゴルでも、“Happy New year!”のカードを送る習慣があるので、みんな可愛い絵のカードを求めて郵便局へ行く時期です。

モンゴルの郵便局の歴史を少し覗いてみれば、1921年7月19日に現在の“モンゴル郵便”有限会社“の基礎であるモンゴル国郵便・中央伝票委員会”という組織が設立されました。

モンゴルの郵便局のサービスの中で最も利用者が多いのは、私書箱サービスです。小さなボックスに郵便局から与えられた番号が書かれており、そのボックスを通して個人用の郵便物や新聞を受け取ります。もちろん、自宅配達サービスもあります。

田舎の場合は、人々が移動しながら生活するため、自宅に郵便受けはありません。遊牧民が、自ら郵便局まで出

向きます。今は、どこの村や集落でも携帯の電波が届くため、郵便物が届いたときに電話が入るようになって便利になりました。

配達状況は、海外郵便を週に3～6回、県センター、村センターの場合、週に2～4回、村センターから集落に週に1回で、世界の200ぐらいの国と郵便ネットワークがあります。

近年、地方に住んでいる人たちが通販で買い物する傾向があり、郵送してもらうことが増えています。



写真はモンゴル郵便のロゴです。МОНГОЛ ШУУДАН (モンゴルシオーダン、モンゴル郵便)と書かれています。

編集部より

いよいよ今年も残りわずかになりました。今年を振り返ってみると、オーストラリア訪問、都城市中高生モンゴル訪問、ウランバートル市創立380周年式典訪問、先月開催した友好交流都市締結20周年式典と立て続けて大きな行事があり、どれも大変充実した交流ができました。年が明けるとワールドフェスタやオーストラリア・ニュージランドの幹部職員が本市を訪れます。しっかりと“おもてなし”をして都城市の良さを伝えていきたいと思えます。来年もよろしくお願ひします。

[森重]

「えっ!? 日本語じゃなくて外来語なの?」シリーズ④

前回の【瓦】のように、今ではすっかり馴染みの「日本語」として定着しているけど、実はその語源は、「外来語」だったんだあ～って言葉を御紹介しています。

第4回目の今回、御紹介するのは、【南瓜(かぼちゃ)】です。原産地はカンボジアで、日本にはポルトガル人が伝えたと言われてます。中国でも南蛮渡来の瓜の意味で【南瓜(ナングァ)】と呼ばれています。日本では、国の名前【Cambodia】(カンボジア)が訛って、かぼちゃと呼ばれるようになったとされています。

いやあ～、びっくりしました…次回もこんな感じで御紹介していきます!!

[西畑]

街中のイルミネーションを見て、今年も年末がやってきたと感じます。末娘のサンタクローズへのリクエストは目の飛び出るような高額商品。2週間ほどかけて何とかサンタのおじさんのお財布に優しいおもちやへ気持ちを切り替えてもらいました。ほっ。

[山内]

11月24日は都城市とモンゴルの首都ウランバートル市、中国重慶市江津区の間で友好交流都市が締結された20周年の記念式典の日でした。モンゴル国とは風力発電機を贈る民間の活動がきっかけで、友好交流都市締結発展に繋がり、現在様々な分野で交流が広がっています。私も、風力発電の風に乗ってモンゴルからの第6代目の国際交流員として、皆様方と交流を深めるご縁があることを大変光栄に思っております。これからも、よろしくお願ひいたします。

[ソヨ]

また朝起きるのに苦戦する時期になりました。冬の朝は布団と離れたくないですね。ベッドに封印されたみたいで、なかなか起きられないです。解決するため、それなりの対処法もやっています。夜はとにかく早寝して、朝はエアコンの暖房をつけて部屋を暖かくしています。

携帯のアラームも10分に1回鳴るように設定しています。ただ、やはり効果があまりなく、毎回目覚めて携帯を見るのは、あとどれぐらい寝られるだろうというチェックのためです。10分間は10秒みたいに短く、目をつぶっただけでアラームがまた鳴ります。結局最後は、気合と根性と瞬発力に頼って起きています。

[銭]

先月、「唯一の世界中、何よりも大切にしないといけない伝統文化なんて存在していない。」との考え方を書いてコメントを終えました。ある程度、それはそうかもしれませんが、その逆も、すなわち、大切にしないでいい伝統文化なんてない、ということもそうでしょう。人類は数万年の歴史の中で、いつも周りの環境に順応し、生き残るために何が必要か、一人ひとり考えてきました。「衣食足りて礼節を知る。」そうして、人生を充実させるために何が必要かを考える余裕ができました。

「充実している人生」の意味も人それぞれ、というのは当たり前かもしれませんが、文化の違いも含めると、どのぐらい違いがあるのかは、わかりにくいと思います。海外の方と出会う場面で、最初の瞬間は自然の警戒と、通じ合えるかどうかの不安があるかもしれません。この怯えを乗り越え、伝えたかった事を捉えれば、お互いに共通点が多く、またはお互いの違いも多いとわかり、そこにこそ面白い所があるとわかります。

こういう共通点や相違点がMJホールで開催する2020年のワールドフェスタに集います。もしお時間があれば、是非お越しください!

[ジョージ]

会員の皆様、ボランティアにご協力いただいた皆様、今年も大変お世話になり、ありがとうございました。皆様にご支えていただいてイベントや日本語練習会等を実施することができました。来年1月には恒例の第11回「ワールドフェスタinみやこのじょう2020」を開催いたします。こちらもお協力、ご来場をお願いいたします。良いお年をお迎えください。

[藤元]

先月号に書いた娘の混乱を解決するために、「ツェンちゃん」を「ツェツェ」と教えてみることにしました。センちゃんとの区別もつきやすくなり、また、「チェチェ」とは言えることがわかりました。ツェツェと言えるようになったら、ツェンちゃんに動画を撮って送りたいと思います。

[迫田]